



大前寛乗議員(市民グループ未来の会)

# Q&A 一般質問

一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来への方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めるために行うものです。

3月定例会でのみ所属議員3人以上の会派が代表質問(時間120分)を行うことができます。今定例会では2会派が代表質問を行い、3名の議員が個人質問(時間60分)を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。(代表質問は4～5ページ、個人質問は6～7ページに掲載しています)

## 代表質問

おおまえ かんじょう  
**大前 寛乗 議員**  
市民グループ未来の会



**コロナ禍での行事開催のガイドラインは**

**Q** 昨年から本市でもいろいろな行事が中止・延期となっており、今後、ワクチン接種で収束の期待があるが、本市がコロナ禍で行事を開催する場合のガイドラインは。

**A** 坂出市新型コロナウイルス対策本部において、「市民等を対象とした坂出市主催イベント開催の判断基準」を定め、適宜見直しつつ、全庁的に統一した対応を図るとともに、市内関係団体にも参考としてお示ししています。

本市の判断基準は、適切な感染防止対策が講じられるものに限って開催可能とするものであり、観客の歓声を伴う場合は、施設の定員の半分以上にすることが、飲食を伴う場合に注意を払うべき事項、マスク着用の徹底などを定め、国や県の判断基準とも整合性を確保しています。

今後においても、必要に応じて本市の判断基準を見直しつつ、各種行事を実施する際は、適切な感染防止対策を実施していきたいと考えています。

(市長)

東京オリンピック・パラリンピックによる誇らしく輝ける未来の実現とは

**Q** 施政方針での、市長が身命を賭す覚悟で取り組もうとする、誇らしく輝ける未来とはどういうものか。それは、東京オリンピック・パラリンピックの開催によって実現するのか、市長の考えを伺う。

**A** 多くの人が参画するイベントは、経済効果にとどまらず、地域に活力を生み出し、ふるさとへの誇りと愛着の醸成につながるものです。とりわけ、東京オリンピック・パラリンピックの開催は、聖火リレーやハンガリーチームの受入れを通じて、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により社会が閉塞感に覆われる中、地域の活力を取り戻す大きな契機になることを期待するものです。

いかに困難な状況にあっても、ふるさとを誇りに思えるよう、さらなる発展に向けたまちづくりを、歩みを止めることなく着実に進め、必ずや「働きたい、住みたい、子育てしたい共働のまち さかいで」を実現していく強い覚悟をもって市政運営に取り組み所存です。

(市長)

学校再編の方向性の基本的な考えは

**Q** 学校再編整備検討委員会を設置し、どのように検討委員会を進めていくのか、基本的な考えを伺う。

**A** 平成20年に策定された「坂出市学校再編整備実施計画」及び令和2年度策定の「坂出市学校施設長寿命化計画」を基礎としながら、子供たちの豊かな学びの実現を図るためには、一定規模の集団が必要であるとの認識も踏まえ、建物ごとの状況調査結果と児童・生徒数の推移、これからの学校教育の在り方、また市全体の公共施設やまちづくりなど、様々な要素を勘案し、新たな「学校再編整備実施計画」を策定していきます。

(教育長)



### 質問の主な項目

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ・都市基盤等の整備について
- ・健康で安心して暮らせるまちづくりについて など